

## 昭和電工株式会社 2022年2Q 決算説明会 Q&A要旨

日時：2022年8月4日（木）17:00～18:00

説明者：取締役 常務執行役員 CFO 染宮 秀樹

\*内容は、開催日時点の情報に基づいております。

### 【全社】

**Q 優先株式の早期買取について、詳しく教えてほしい。**

A 優先株式は23年1月の法人格統合以降に買い取りが可能になるという取り決めがあったが、当社から早期に買い取りたいと申し出て合意した。来年以降は、最終損益ベースで年間70億円程度の改善効果を見込んでいる。

**Q 通期予想の営業CFが期初から悪化する一方、投資CFが改善する見通しになっている。その背景を教えてください。**

A 営業CFの悪化は、原材料価格の高騰による棚卸資産の増加と、増収に伴う売上債権増が主要因。投資CFの改善は、設備投資の先送りや厳選による縮減を見込んでいる。

### 【半導体・電子材料セグメント】

**Q 下期予想は上期から増益を見込んでいるが、その内訳を半導体前工程材料、半導体後工程材料、デバイスソリューションに分けて教えてください。**

A 各事業で増益の見通しだが、季節性もあってHDメディアの増収を大きく見ており、デバイスソリューションの増益幅が最も大きくなっている。

### 【モビリティセグメント】

**Q 通期見通しを下方修正している。下期の自動車生産の見立てを、期初との変化点を含めて教えてください。**

A 期初には、上期から徐々に生産が回復し、下期には通常の水準に戻るものと見ていたが、実際には上期の生産は伸び悩んでおり、下期の生産見通しも期初見通しからかなり下方修正したものを前提としている。

**Q 上期実績、通期見通しともに赤字になっているが、挽回のための施策を教えてください。**

A 価格交渉のタイミングで原材料価格等の転嫁交渉を行っていくほか、もう一段の固定費縮減にも取り組んでいる。

### 【ケミカルセグメント】

**Q 1Qから2Qの増益要因を教えてください。**

A 石油化学の増益が主要因。原油価格上昇前に調達したナフサの投入による受払差などで、2Qは大きく増益となった。

**Q 黒鉛電極の下期の販売価格と販売数量の見通しを教えてください。**

A 販売価格の交渉は、概ね期初の見通し通り進捗しており、通期平均で前年から3割上げるといふ今期の目標は達成できる見通し。一方、物量は欧州の落ち込みなどにより、期初の目標からは下方修正している。

以上

\* 本資料の将来見通し等に関する記述は、今後以下のような様々な要因により実際の業績と大きく異なる結果となる可能性があります。

- ・COVID-19拡大が世界経済に与える影響、国際情勢、ナフサ等原材料価格、黒鉛電極製品等の需要動向および市況、為替レート
- ・法改正や訴訟等のリスクなどが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

また、為替レートや国産ナフサ価格など予想の前提につきましては、2022年8月4日発表の弊社決算短信をご参照ください。